

# 小学校第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

浦添市立前田小学校

教諭 仲村 出

## 1 単元名 たんけん はっけん ほっとけん

### 2 単元目標

- ・地域の伝統文化や産業、風景等、様々な「たからもの」を調べる活動を通して、自分たちが住んでいる地域の良さを再認識し、大切にしなければならないことを理解することができる。

【知識・技能】

- ・調べた「たからもの」から考えたことや気付いたこと等を話し合い、わかりやすく整理してまとめ、伝えたいことを適切に表現することができる。

【思考・判断・表現】

- ・地域の良さやそれを守る人々に対する自分の考えをもち、地域の一員として関わって活動できることはないか意欲的に考えることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

### 3 単元について

#### (1) 教材観

本教材は、小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編の第3章「各学校において定める目標および内容の取り扱い」(6)探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力において配慮する事項として、「ウ 学びに向かう力、人間性などについては、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方に視点を踏まえること」にあたるものである。学習指導要領の第1の目標を踏まえ、地域や学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて設定した単元である。

本教材で扱う地域学習は、児童の住んでいる前田地域に焦点を当てて学習を進めることとしており、昔から遺っているものとして、前田を象徴する岩「ワカリジー」や、昔から人々の生活と関わりのある「井戸」、五穀豊穡を願った「前田の綱引き」、田を守るために始まったと言われている「前田棒」がある。また、新しくできるものとしては、那覇から敷かれる「モノレール」がある。それらを調べていくなかで、古い町並みの良さに気づくとともに、自分たちの住んでいる地域の伝統文化を守るために自分たちができることを考える教材となる。

このように地域との関わりは大きく、3学年の総合的な学習の時間で地域のよさに触れる活動は意義深いものであると考える。児童が地域に自分の足で出かけ、地域に住む人々、物、自然と直接関わることを通して、自分の住む地域に対する愛着やこだわりをもち、これからも地域に関わっていこうとする気持ちを育む活動を通してSDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」を目指すこととする。

#### (2) 児童観

児童は前学年の生活科の学習を通して、身近な地域に関心をもち、様々な場所を調べ地域の場所や人との関りを広げ、地域に親しみをもち学習を進めてきた。本学年ではその生活科の学習を生かし、4月からの社会科の「私たちの大好きなまち」という単元を通して、自分たちの住んでいる市の「まちたんけん」を行ってきた。自分たちの住む地域がどのようなになっているのか学習課題をつくり、見通しを立て、解決するための地域探検を行った。自分たちの学校を中心に四方位を確認しながらそれぞれの方位に特徴があることに気づくことができた。その気づいたことを白地図に色付けたり、公共施設や地図記号を記入したりする活動を行い、地域や市の特徴をまとめることができた。

事前アンケートでは、「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童が78%、「前田には自まんでできるものがある」と答えた児童が58%、「大人になっても前田に住みたいか」という質問に児童は74%の児童が住みたいと答えており、自分たちの住んでいる地域に興味関心があり、地域学習に肯定的な考えをもつ児童が多いと考える。

しかし、地域への関心はあるがその理解はまだ漠然としている段階である。そこで、地域の特

色を更に深める活動を通して、地域の文化遺産や自然・新しい建物等に視点を当て焦点化し、活動を主体的に解決していく学習に発展させるようにしていきたい。

### (3) 指導観

3学年にとっては、総合的な学習の時間に初めて取り組むこととなる。「たんけん はっけん ほっとけん」をテーマに地域の文化遺産や自然・新しい建物等に興味や関心をもたせ、自分たちの住んでいる地域から課題を見つける学習を展開していきたい。

これまで児童は社会科の学習で、自分たちの住む地域に関心を持ち、地域の様子や違いに気づかせる学習を行ってきた。更に浦添市の地形、土地利用、施設や交通の様子などについて調べ、同じ市内でも場所によって違いがあることに気づき、パンフレットにまとめる活動を行った。

「ふれる」では社会科との関連として、市内巡りを通し浦添市全体として見てきた中で、前田地域の位置付けや、自然や緑が豊富であること、文化遺産が数多くあったり、新しい建物等開発が進んでいたりする地域であること捉えさせ、自分の調べたいことを見つけさせる。

「つかむ・見通す」では、課題別にグループを作り、調べたいことを話し合っって明確にさせ、調べる計画を立てさせる。

「調べる」では、地域の歴史ガイドの人材活用や、グループでのフィールドワーク、インタビューや資料活用等、色々な方法で調べさせていく。また、調べてきたことをその都度まとめさせ、新たな課題についての追及の時間も設定し学習意欲を高めていく。

「まとめる・伝え合う」では調べたことをどのようにまとめるかを話し合わせ、うまく伝えるための効果的な方法を考え発表会を行えるようする。

それぞれが調べた「たからもの」を地域の方々や、他学年にも広めていけるよう継続して取り組んでいきたい。そして、児童自身が、地域に関わる活動を行うことで、地域の一員としての自覚が育ち、ふるさと意識を持ち、持続可能な社会づくりの観点から、つながりを尊重する力を身につけ、郷土に対する親しみや愛着を自覚できるようにしていきたい。

### (4) ESD との関連

#### ・学習を通して育てたい ESD の視点

**【相互性】**：地域の「たからもの」を調べる学習を通し、地域が華やかになっていく一方で、自然環境への影響、交通渋滞等様々な事象が、自分たちの暮らしへの影響にもつながっていることに気づくことができる。

**【公平性】**：地域の「たからもの」をまとめて伝える学習を通し、開発が進んでいる地域の中で、古い町並みの良さや伝統文化に気づくとともに、自分たちの住んでいる伝統文化を守るための人々の活動や思いに気づくことができる。

#### ・学習を通して主に育てたい ESD の資質・能力

地域は、開発地域として注目されている。地域の急激な変化を児童は体感し始めており、自分たちの暮らしから見つめようとする関心が高まってきている。

そこで、これらの課題を自分事として様々な側面から捉えさせ、他の事象と関連付けて考えさせていきたい。また、分かっていることを基にどんなことが言えるか視野を広めて考えさせることを通し、システムズシンキングの育成を目指していきたい。

## 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に必要な知識・技能を活用する。</li> <li>地域のよさ、人々の思いを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや願いをもち、課題を見つけることができる。</li> <li>調べたことをもとに根拠を明確にしながらかえをもつことができる。</li> <li>自分の考えや思いを分かりやすく整理し、相手に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会の一員として自分の考えをもち、その実現に向けてはたらきかけることができる。</li> <li>学習で培った考えや思いを生活に生かそうとすることができる。</li> </ul>

## 5 単元展開の概要

過程	時	主な学習活動	【評価規準】(評価方法)《ESDの観点》
ふれる	2	○オリエンテーション ・総合的な学習の時間の進め方について知らせ、活動意欲をもたせる。 ・多様な追究の仕方を知らせる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べ学習の進め方やまとめ方がわかる。 《ESDの観点》⑦参加
	2 (本時)	○前田の「たからもの」から連想することをイメージマップにしよう。 ・「たからもの」について話し合い、イメージを広げる。	【思考力・判断力・表現力】 ・これまでの学習を通して地域の「たからもの」を考えることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習したことや身近なことから、前田地域について調べようとする意欲をもつことができる。(ワークシート) 《ESDの観点》③多面 ⑥関連
つかむ 見通す	2	○課題をつくろう。 ・調べたいことの自己課題を決定する。 ・各自の課題を発表し、友だちの課題を知る。 ・各課題別コースのグループを決める。	【思考力・判断力・表現力】 ・自分の調べたい課題を見つけることができる。(ワークシート) 《ESDの観点》①批判
	2	○活動計画を立てよう。 ・調べたいことを話し合わせ、調べることを明確にする。 ・同じ課題別にグループを組み、活動計画を立てる。	【知識及び技能】 ・課題解決に必要な情報を整理し、調べることをまとめることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に計画を立て、これからの学習に見通しをもつことができる。 《ESDの観点》②未来 ④伝達 ⑤協力
調べる	14	○地域の「たからもの」を調べよう。 ・課題に向かって活動を進める。 ガイドと町歩き 調査 交渉 取材 グループフィールドワーク ※調べたことのまとめを随時行う。 ※新たな課題の追及を行う。	【思考力・判断力・表現力】 ・既習事項を使って解決に向けて調べたり考えたりすることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計画をもとに意欲的に課題に取り組むことができる。(ワークシート) 《ESDの観点》①批判 ③多面 ④伝達 ⑤協力 ⑥関連 ⑦参加
まとめる 伝え合う	5	○まとめ方を工夫しよう ・各グループでまとめ方や発表の仕方を話し合う。 (パワーポイント 壁新聞 紙芝居 等)	【思考力・判断力・表現力】 ・既習の表現方法について振り返り、分かりやすく見やすい表現を工夫することができる。 (パワーポイント 壁新聞 紙芝居 等) 《ESDの観点》④伝達
	4	○発表会の準備をしよう ・まとめかたや発表の仕方を工夫し、うまく伝えるための効果的な方法を考える。 ・役割分担を行い、練習をする。	【思考力・判断力・表現力】 ・分かりやすく伝えるために何をどのように伝えるのか考え工夫することができる。(準備・練習) 《ESDの観点》④伝達
	4	○前田地いきの「たからもの」を伝えよう① ・グループごとにまとめたことを発表する。 ・他のグループの発表を聞き、良かった点や感じたことを発表する。	【思考力・判断力・表現力】 ・まとめたことを、相手に分かりやすく伝えることができる。 (パワーポイント 壁新聞 紙芝居 等) 《ESDの観点》④伝達
広げる 振り返る	3	○前田地いきの「たからもの」を伝えよう② ・前田地域の「宝もの」について調べたことを地域の方や他学年に紹介する。	【思考力・判断力・表現力】 ・まとめたことを、相手に分かりやすく伝えることができる。 (パワーポイント 壁新聞 紙芝居 等) 《ESDの観点》④伝達
	2	○活動を振り返ろう ・これまでの活動を振り返り、総合的な学習の時間でできるようになったことを話し合い、まとめる。 ・地域の一員として自分でできることは何かを考えさせ、自分の成長に気づかせる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・探求的な活動を通して、自分たちの住む前田地域の将来について考え、深く関わろうとすることができる。(ワークシート、観察) 《ESDの観点》⑥関連 ⑦参加

## 5 成果と課題

- 社会科単元と関連させ、浦添市全体として見てきた中で、自分が住んでいる地域の特徴を捉え、様々な諸課題を見つけることができた。また、地域の伝統文化に興味・関心をもたせることができた。
- 課題別にグループを作り、調べたいことを話し合っで明確にさせ、調べる計画を立て実践させることで、主体的に地域への関わりをもつことができた。(フィールドワーク、インタビュー等)
- 地域の方々や外部機関(NPO、沖縄県、浦添市)と一体となって学習することで、広い視野で地域学習に取り組むことができ、児童の知識・理解を深めることができた。
- 調べてきたことをまとめる活動を通して、分かっていることを基にどんなことが言えるか視野を広めて考えさせることで、新たな課題について発見したり、地域の良さを再確認したりすることができた。
- 学習してきたことを、どのようにまとめわかりやすく伝えるかを常に意識させながら活動に取り組むことで、目的をもって活動している。
- 地域の様々な課題を見つける活動では、課題や自分事として捉えられない児童が数名いた。「課題として捉える理由」と「課題としてとらえられない理由」を話し合わせ考えさせてもよかった。
- 主体的に地域への関わりをもたせるための外部機関との連携の仕方や情報の共有の仕方。
- グループでまとめる際の活動内容、役割分担等の充実を図る手立てが必要。
- 分かりやすく伝えるための効果的な発表方法。